

4 白馬村図書館等複合施設について

これまでの検討経過

- | | |
|---|--|
| 2017. 7～ 図書館施設検討委員会（2018.10まで全9回） | 2020. 4～ JR東日本長野支社との協議 |
| 2017. 10 白馬高校公営塾しろま学舎ワークショップ | 2021. 4 住民説明会（候補地の見直し） |
| 2017. 11 文化祭での意見聴取、シニアクラブとの意見交換
白馬中学校ワークショップ、一般公開ワークショップ | 2022. 1～ 白馬村図書館等複合施設検討委員会 |
| 2018. 7 アンケート | 2022. 4～ 官民連携調査（先導的官民連携支援事業） |
| 2018. 8～ 有識者会議（2019.2まで全4回） | 2023. 4～ 事業費の縮減検討 |
| 2018. 9～ 公募によるワークショップ（2018.11まで全3回） | 2023. 9 官民連携による事業実施断念 |
| 2019. 3 基本構想策定（子育て支援機能の複合化決定） | 2023.10～ 財政シミュレーション、施設整備方法、
建設実施可能年度等の検討 |
| 2019. 11 有識者会議 | 2024. 3～ 子育て施設のみを先行して整備
（R7年度着手、R10年度開設）
図書館は一旦先送りとする。 |
| 2020. 3 基本計画策定（最優先候補地を白馬駅に決定） | |

1) 教育委員会事務局における検討結果

- ① 複合施設（子育て施設と図書館）として建設
- ② 別施設として建設
- ③ 子育て施設を先行して現在地に建設
- ④ 子育て施設を先行して現在地の西側に建設

上記4つのプランについて、施設整備や維持管理運営におけるメリット・デメリット、財政的な負担等を比較・評価を行った結果、教育委員会事務局としては、従前の検討のとおり複合施設として整備する①が最も望ましいという結論に至った。

財政シミュレーションにおいても実質公債費比率は他のプランと比べて突出した数値とはならず、これまでの検討において住民から要望が多かった子育てや公園、図書館、交流、居場所等の複合的な機能を有する住民目線の施設整備を行うことで、住民の期待に応えるとともに、効果的・効率的な施設整備や維持管理運営を行うことが望ましいというのが主な理由である。

2) 理事者・総務課を交えた財政的検討

前述の教育委員会事務局の意向は理想的であるが、以下の理由により慎重な判断が必要である。

- ・ 実質公債費比率が高止まりの状況となることが予想される。
- ・ 複合施設整備に約4億3千万円の一般財源が必要となり、全庁的な影響が大きい。(R11は単年で3億円超)
- ・ R13以降からは小学校施設整備も計画している。(合わせて10億円超の一般財源が必要)

- ・ それに対して、現在の財政調整基金の残高が約12億円という状況を踏まえると、複合施設整備の場合は、基金を大きく取り崩さざるを得ないこととなるが、近年頻繁に発生する災害発生等への対応を考慮すると基金の取り崩しには慎重な判断が必要となる。

3) 最終的な結論

以上の検討から、今後の方針を定めた。

- ① **現在の子育て支援ルーム西側の農地を取得**
- ② **老朽化している子育て施設のみを先行して整備**
- ③ **新たな図書館の整備は一旦先送り**

長い年月をかけて検討した図書館建設案を将来的に実現する用地を確保しつつ、後年度に控えている学校施設整備との融合も視野に入れながら、今後の財政状況等により判断していくこととする。

■子育て施設建設事業概要



スケジュール：R7 設 計
R8~9 建設工事
R10 既存施設解体撤去

延床面積：約1,000㎡

建設事業費：約10億8千万円

【内訳】

国庫金等	約3億7千万円
地方債	約4億8千万円
一般財源	約2億3千万円

参 考

【年間】

- ・維持管理費 約550万円（約55万円）
 - ・運営費 約2,696万円（約2,300万円）
- ※（ ）円は現在の施設での費用